

令和4年度中井町食品ロス実態調査報告書

(1) 実施概要

■実施日時	令和5年1月20日（金）
■作業場所	大井町剪定枝破砕場
■作業時間	8:30～16:00（昼食休憩1時間、準備片付け含む）
■作業員	中井町職員4名 大井町職員1名 松田町職員1名
■調査対象	・2地域 ①井ノ口 A地区 ②井ノ口 B地区
■調査試料	・2地区の可燃ごみ（サンプリング試料 約401.10 kg） ・サンプリング試料から食品廃棄物（約155.24 kg）を抽出、細組成調査を行う。

(2) 調査結果

1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表1）、2地域の合計で136袋、401.1kg、1袋あたりの平均重量は2.9 kgであった。地域別に見ると、①井ノ口 A地区が60袋、200.7kg、②井ノ口 B地区が76袋、200.4 kgであった。

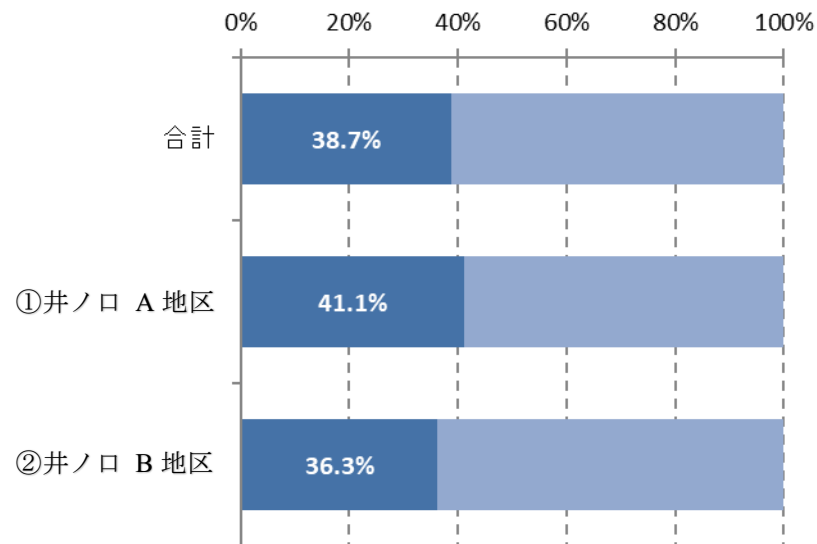
図表 1 調査対象とした試料概要（中井町）

	袋数(個)	重量(kg)	容量(L)	袋あたり	
				重量(kg)	容量(L)
合計	136	401.1	4,985	2.9	36.7
① 井ノ口 A地区	60	200.7	2,380	3.3	39.7
② 井ノ口 B地区	76	200.4	2,605	2.6	34.3

※合計は、2地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表 2）、2 地域の合計では 38.7%、地域別に見ると①井ノ口 A 地区が 41.1%、②井ノ口 B 地区が 36.3%となっている。

図表 2 試料中の食品廃棄物の割合（中井町）



(単位:kg)

	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C (=B/A)	食品廃棄物以外 D (=1-C)
合計	401.10	155.24	38.7%	61.3%
①井ノ口 A地区	200.70	82.46	41.1%	58.9%
②井ノ口 B地区	200.40	72.78	36.3%	63.7%

※合計は、2 地区の調査結果を足して算出したもの

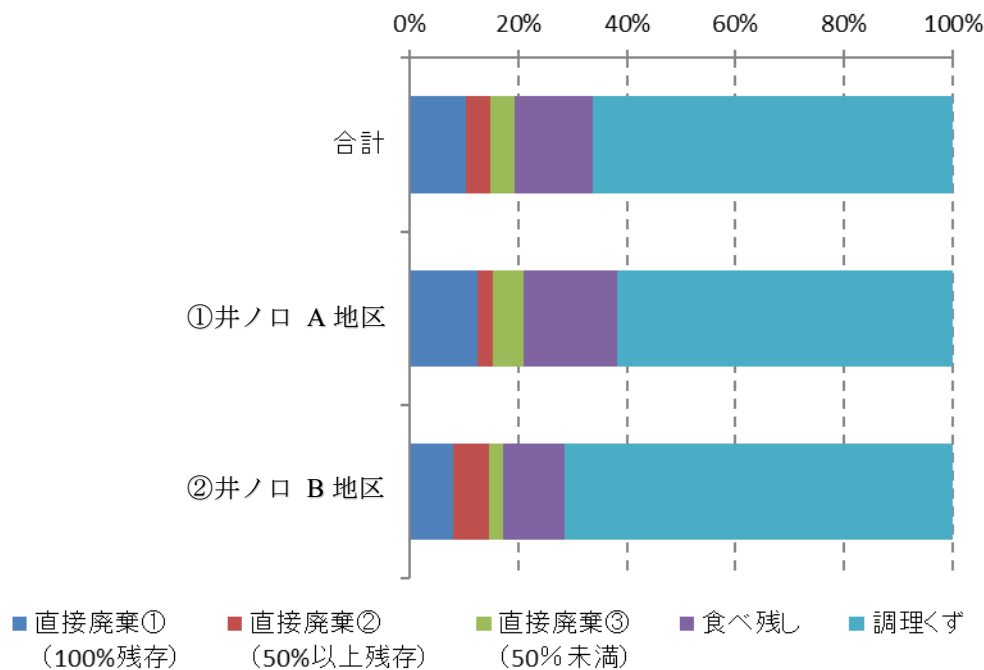
2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄及び食べ残しを食品ロスとする。
食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表 3）、2地域の合計では33.7%、地域別に見ると①井ノ口 A地区が38.3%、②井ノ口 B地区が28.6%となっている。

直接廃棄に着目すると、2地区の合計では、まったく手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち10.3%を占めており、①井ノ口 A地区で12.4%、②井ノ口 B地区が7.9%となっている。

同様に、食べ残しに着目すると、2地区の合計では14.4%、①井ノ口 A地区が17.2%、②井ノ口 B地区が11.2%となっている。

図表 3 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（中井町）



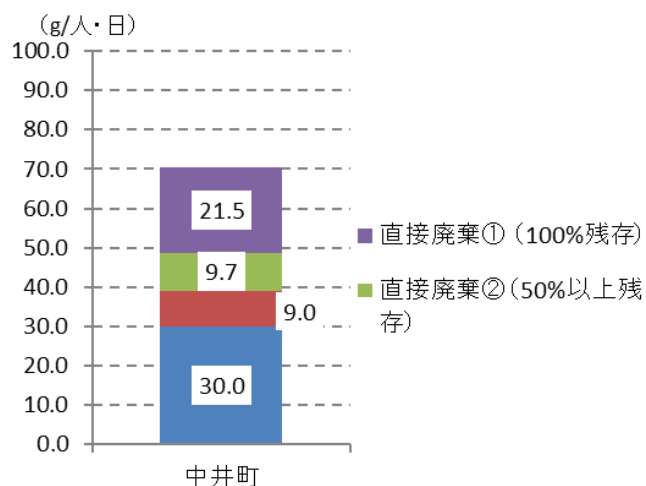
	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	33.7%	10.3%	4.7%	4.3%	14.4%
①井ノ口 A地区	38.3%	12.4%	2.9%	5.8%	17.2%
②井ノ口 B地区	28.6%	7.9%	6.7%	2.7%	11.2%

※合計は、2地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

3) 1人1日あたりの食品ロス発生量

- 調査結果を踏まえて、1人1日あたりの食品ロス発生量を推計すると 70.3g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（手付かず、100%）が 21.5g/人・日、食べ残しが 30.0g/人・日と推計された。

図表 4 1人1日あたりの食品ロス発生量（中井町）



4) 調査写真

①井ノ口 A地区
直接廃棄（100%）



②井ノ口 B地区
直接廃棄（100%）



直接廃棄（50%以上）



直接廃棄（50%以上）

